

5年	科目	学外実習Ⅲ	実習	前期または後期	担当	西田 友久
機械工学科		Off-Campus Training III	選択	1履修単位		NISHIDA Tomohisa
授業の概要						
<p>長期休業中(原則として夏期休業中)に、企業または研究機関等において実習を行い、生産現場または研究機関等における研究・開発・生産などの活動を体験する。工業技術の体得とともに、実務経験を通じて技術者としての労働観、職業観を育成する。実施期間は1週間(30時間)とする。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
<p>工業技術の体得とともに、実務経験を通じて技術者としての労働観、職業観を育成する。</p>						
授業計画						
実施手順	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員(担任)が本人の希望にもとづいて受け入れ可能な企業などを選定する。 ・履歴書、エントリーシートなどの応募書類を作成する(企業への依頼は教務係)。 ・実習内容は企業側担当者と協議の上で決定する。 ・実習先についての事前学習を行い、レポートとして提出する。 ・実習期間中は企業側の指導にしたがって実習を行う(学校宛での開始報告・終了報告が必要)。 ・実習終了後は、実習内容や成果についてまとめた実施報告書を提出する。 ・報告会で実習内容などを口頭発表(ポスターセッションを含む)する。 ※不測の事態などの場合は必ず指導教員に連絡すること。緊急の場合は学生課でもよい。 					
評価方法 と基準	<p>事前学習レポートと実施報告書が提出され、報告会で口頭発表を行った者に対して以下の割合で評価する。 ①履歴書・エントリーシートなどの応募書類10%、②事前学習レポート10%、③実施報告書50%、④報告会30% 60点以上を合格とするが、成績評価は評語(A、B、C、D)をもって行う。</p>					
教科書等						
備考	<p>1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。</p>					